



はじめに

ここでは、『Cisco SFS ファミリー *Element Manager ユーザガイド*』の対象読者、マニュアルの構成、および表記法について説明します。内容は次のとおりです。

- [対象読者 \(p.xvii\)](#)
- [マニュアルの構成 \(p.xviii\)](#)
- [表記法 \(p.xix\)](#)
- [関連資料 \(p.xx\)](#)
- [マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、およびセキュリティ ガイドライン \(p.xx\)](#)

対象読者

このマニュアルは、InfiniBand スイッチ機器の取り付け、設定、管理を担当する管理者を対象としています。このマニュアルを使用するためには、同様のネットワークまたはストレージ機器の管理経験も必要です。

マニュアルの構成

このマニュアルの構成は、次のとおりです。

章	タイトル	説明
第 1 章	Element Manager について	Element Manager の基本的な機能
第 2 章	シャーシ画面の使い方	シャーシ画面で実行できる作業
第 3 章	File メニューの使い方	File メニュー画面で実行できる作業
第 4 章	Edit メニューの使い方	Edit メニュー画面で実行できる作業
第 5 章	Maintenance メニューの使い方	Maintenance メニュー画面で実行できる作業
第 6 章	Health メニューの使い方	Health メニュー画面で実行できる作業
第 7 章	Report メニューの使い方	Report メニュー画面で実行できる作業
第 8 章	InfiniBand メニューでのサブ ネット管理	InfiniBand メニュー画面で実行できるサブネット管理 作業
第 9 章	InfiniBand パフォーマンス管理	InfiniBand メニュー画面で実行できるパフォーマンス 管理作業
第 10 章	InfiniBand トポロジ ビュー	InfiniBand メニュー画面のトポロジ表示の使用 方法
第 11 章	InfiniBand デバイスの管理	InfiniBand メニュー画面で実行できる InfiniBand デバ イス管理作業
第 12 章	イーサネット メニュー	Ethernet メニュー画面で実行できる作業
第 13 章	ファイバチャネル メニュー	Fibre Channel メニュー画面で実行できる作業
第 14 章	ヘルプ メニュー	Help メニュー画面で実行できる作業
付録 A	InfiniBand の概念	InfiniBand エンティティの概念

表記法

このマニュアルでは、次の表記法を使用しています。

表記	説明
太字	コマンド、コマンド オプションおよびキーワードは 太字 で示しています。太字の語句は Chassis Manager のエレメントか、またはユーザがそのまま入力しなければならない語句です。
イタリック体	ユーザが値を指定する引数は、 <i>イタリック体</i> で示しています。コマンド以外にイタリック体が使用されている場合、強調を表します。
Menu1 > Menu2 > Item...	フォームを開く際、または目的の機能を実行する際に使用するポップアップ シーケンスを表します。
[]	角カッコの中の要素は、省略可能です。
{x y z}	必ずどれか 1 つを選択しなければならない必須キーワードは、波カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。キーワードや引数をまとめて示す場合にも波カッコを使用しています (例: { interface interface type })。
[x y z]	どれか 1 つを選択できる省略可能なキーワードは、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
ストリング	引用符を付けない一組の文字。ストリングの前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めてストリングとみなされます。
screen フォント	システムが表示する端末セッションおよび情報は、screen フォントで示しています。
太字の screen フォント	ユーザが入力しなければならない情報は、 太字 の screen フォントで示しています。
イタリック体の screen フォント	ユーザが値を指定する引数は、 <i>イタリック体</i> の screen フォントで示しています。
^	^記号は、Ctrl キーを表します。たとえば、画面に表示される ^D というキーの組み合わせは、Ctrl キーを押しながら D キーを押すことを意味します。
< >	パスワードのように出力されない文字は、かぎカッコ (<>) で囲んで示しています。
[]	システム プロンプトに対するデフォルトの応答は、角カッコで囲んで示しています。
!、#	コードの先頭に感嘆符 (!) またはポンド記号 (#) がある場合には、コメント行であることを示します。

(注) は、次のように表しています。



(注) 「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。

注意は、次のように表しています。



注意

「**要注意**」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

関連資料

Cisco SFS スイッチおよび CLI (コマンドライン インターフェイス) コマンドについての詳細は、次の資料を参照してください。

- 『*Release Notes for Cisco SFS 7000D Series Switch Software Release 2.9.0*』
- 『*Cisco SFS Product Family Chassis Manager User Guide*』
- 『*Cisco SFS Product Family Command Reference*』

ハードウェア構成およびメンテナンス手順についての詳細は、次のハードウェア ガイドを参照してください。

- 『*Cisco SFS 7000P InfiniBand Server Switch Installation and Configuration Note*』
- 『*Cisco SFS 7008P InfiniBand Server Switch Installation and Configuration Note*』
- 『*Cisco SFS 7008P InfiniBand Server Hardware Installation Guide*』
- 『*Cisco SFS 7000D InfiniBand Server Switch Installation and Configuration Note*』
- 『*Cisco SFS 7000P and SFS 7000D InfiniBand Server Switches Hardware Installation Guide*』
- 『*Cisco SFS 3012R Multifabric Server Switch Installation and Configuration Note*』
- 『*Cisco SFS 3012R Multifabric Server Switch Hardware Installation Guide*』

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、およびセキュリティ ガイドライン

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、マニュアルに関するフィードバックの提供、セキュリティ ガイドライン、および推奨エイリアスと一般的なシスコのマニュアルに関する情報については、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。ここには、シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

Japan TAC Web サイト

Japan TAC Web サイトでは、利用頻度の高い TAC Web サイト (<http://www.cisco.com/tac>) のドキュメントを日本語で提供しています。Japan TAC Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp/go/tac>

サポート契約を結んでいない方は、「ゲスト」としてご登録いただくだけで、Japan TAC Web サイトのドキュメントにアクセスできます。

Japan TAC Web サイトにアクセスするには、Cisco.com のログイン ID とパスワードが必要です。ログイン ID とパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://www.cisco.com/jp/register/>